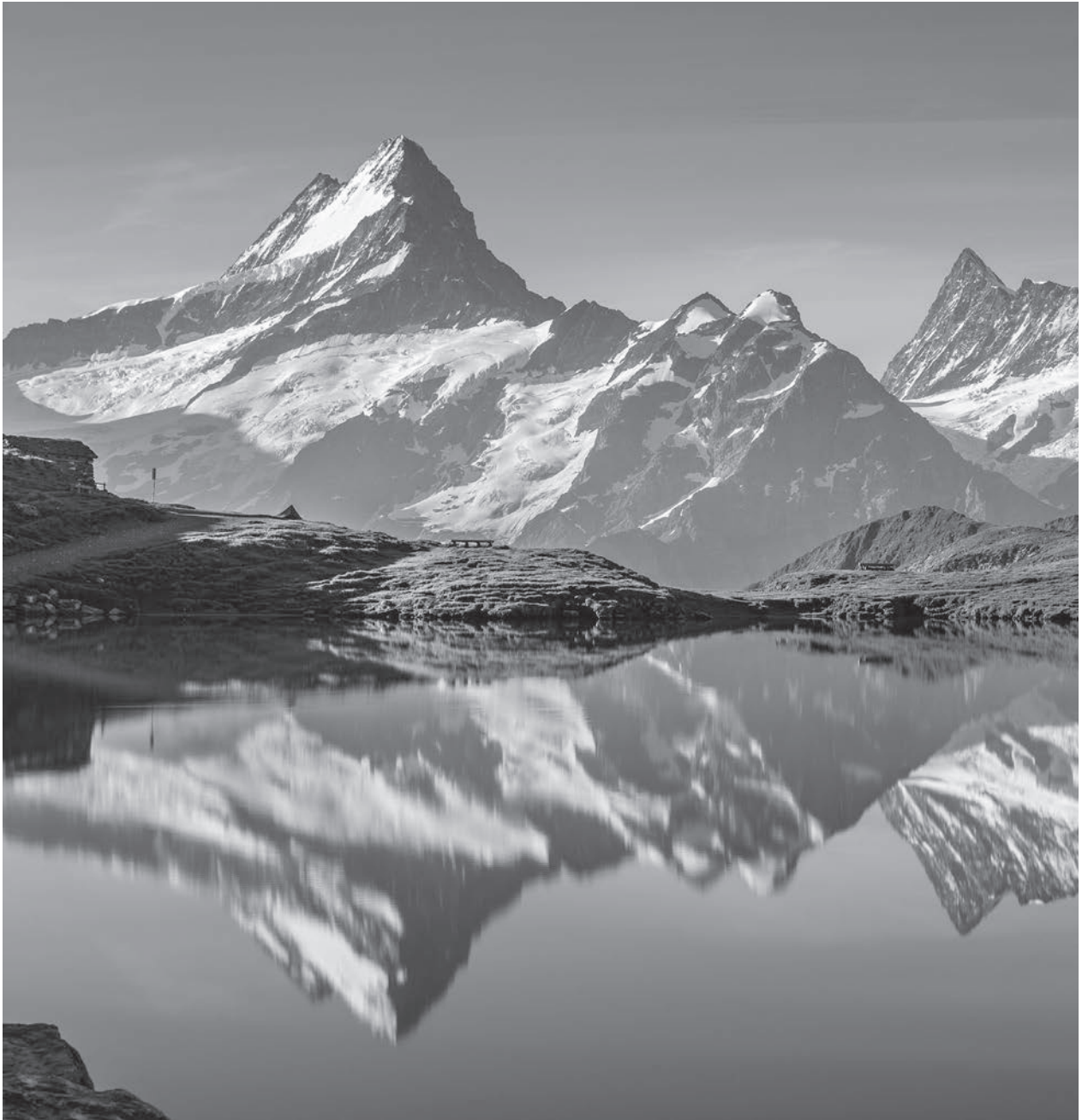


すいそうかく

一般社団法人 全日本吹奏楽連盟会報 2020.8 No.214



2020年度定時総会



理事長所信

丸谷 明夫

コロナ禍による未曾有の事態が続く中、加盟団体の皆様には本連盟の運営に対し、格別のご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

2020年度（第48回）定時総会は、当初5月29日・30日を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大により日程や開催方法を大幅に見直さざるを得なくなりました。

慎重に検討しました結果、6月30日に東京で開催することにいたしました。正会員の皆様には感染リスクを避けるため定時総会へのご来場をお控えくださいますようお願いし、事前に書面による議決権行使をいただきました。

何分にもこのような総会は初めてのことで、お寄せいただいたご質問やご要望に対しても、これまでのような協議が残念ながらできませんでしたが、皆様のご理解とご協力により総会を無事終えることができました。本当にありがとうございました。

本連盟 職員による不祥事につきましては、多大なご迷惑とご心配をお掛けしておりますことを心よりお詫び申し上げます。1月27日の臨時総会以降、理事会として取り組んできましたことは、6月の総会時に正会員及び関係者の皆様には書面にてご報告申し上げます。その間、昨年度末の「全日本アンサンブルコンテスト」の中止や、今年度の秋季事業の開催の可否についての検討、そして、今回の書面決議による「総会」の準備等、緊急に決断しなければならない事案が続きました。

総会が終わり、引き続き理事一人ひとりが責任を持って「再発防止策」を策定し、実践していくことが責務だと考え意欲的に取り組んでいるところでございます。

なお、この件に特化した臨時総会に於いて、原因及び再発防止策の内容をお示しし、その後加盟団体の皆様にもお伝えいたします。

管楽器の飛沫可視化の実験や、感染拡大防止対策について各方面で取り組まれておりますことに深く感謝申し上げます。

本連盟といたしましても、これからの吹奏楽活動の在り方を模索する中で「吹奏楽の活動及び演奏会等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を作成し、ホームページに掲載いたします。今後、感染力や症状等の変異も予想されますので、あくまでも現時点での参考例としてご活用していただければと存じます。

さまざまな問題に直面している状況にありますが、この難局を乗り越えるため、全日本吹奏楽連盟の長として一つ一つの案件に全身全霊を傾け、問題解決に向かって邁進する覚悟でございます。

全国各地から練習再開のお知らせが届く中、吹奏楽を愛するすべての皆様に笑顔が戻ってきますことをお祈りし、所信といたします。

総務報告

副理事長 中澤 正人

2019年度の総務・開発についてご報告いたします。

まず、加盟団体数は、2018年度に比べ、全体で77団体の減となり、合計は14,057団体です。大学部門以外5部門が減少しました。維持会員数は45社です。各社からのご支援ご協力に感謝申し上げます。

加盟団体数の推移

(2019年10月1日現在)

	小学校	中学校	高等学校	大学	職場	一般	合計
2018年	1,116	7,213	3,807	298	70	1,630	14,134
2019年	1,083	7,208	3,781	302	69	1,614	14,057

会議関係でございますが、定時総会は、四国吹奏楽連盟、とりわけ高知県吹奏楽の皆様にお世話になり、高知県高知市で開催いたしました。理事会は、東京・大阪・高知・福井で臨時も含め計6回行いました。会議の内容につきましては、会報「すいそうがく」、支部・会員連盟にお送りしています「全日吹連だより」及び「ホームページ」でご報告させていただいています。定時総会・理事会以外には、臨時を含め常任理事会9回、支部理事長会4回、三役会、各部会、監査会、支部事務局長会、課題曲審査会を行いました。なお、事務局職員による不祥事が発覚し、調査委員会を立ち上げ、調査を行うとともに、臨時総会を開催しました。併せて、第三者委員会を設置しました。

広報関係でございますが、会報「すいそうがく」と全日吹連だよりを各3回発行しました。併せて、ホームページでも適宜、報告・連絡等をアップし、多くの方々に閲覧いただいています。

運営補助金としては、支部へ70万円、会員連盟へ15万円の助成を行いました。

そして、出版関係では、コンクールの課題曲公募には、朝日作曲賞に196曲、全日本作曲コ

ンクールには24曲の応募がありました。第1次審査は、作曲家の新実徳英先生・森田一浩先生・山内雅弘先生の3氏により、フルスコアによる審査を行っていただきました。第2次審査は、全日吹連常任理事と朝日新聞社の代表により、朝日作曲賞のみ、フルスコアとMIDI音源を用いて審査を行いました。第3次審査は、3名の作曲家の先生及び全日吹連理事と朝日新聞社の代表により、大阪「いずみホール」に於いて、指揮・中井章徳氏、Osaka Shion Wind Orchestraの試奏による審査を行いました。その結果、朝日作曲賞と入選2曲、全日本作曲コンクール1位作品と宮川彬良先生への委嘱作品の5曲が、2020年度課題曲として決定いたしました。この5曲の楽譜と参考演奏のCD・DVDは既に出版・販売を行っています。なお、2020年度課題曲は、全日本吹奏楽コンクールが中止になったことにより、2021年度課題曲となります。

その他の出版関係では、1996年～2007年と2018年の課題曲の楽譜、参考演奏テープ・CD・ビデオ・DVD、全国大会ライブCD（I集からVI集）、「楽しい吹奏楽Ⅲ」を販売しています。併せて、資料センターにつきましては、楽譜・図書・CD・ビデオ・DVD等がございます。

以上、2019年度の総務・開発についてご報告いたしました。

事業報告

副理事長 村山英一

2019年度の事業全般についてご報告いたします。

まず、**第67回全日本吹奏楽コンクール**は10月19日（土）に中学校の部を、翌20日（日）に高等学校の部を「名古屋国際会議場」で開催いたしました。中学校、高等学校の部門を名古屋で開催するようになり、昨年で8回目となりました。例年、東海吹奏楽連盟、とりわけ愛知県吹奏楽連盟の皆様には大変お世話になっております。今後ともどうかよろしくお願ひ申し上げます。

また、10月26日（土）に大学の部を、翌27日（日）に職場・一般の部を青森市の「リンクステーションホール青森」で開催いたしました。運営につきましては東北吹奏楽連盟、とりわけ青森県吹奏楽連盟の皆様には大変お世話になりました。

第38回全日本小学生バンドフェスティバルを11月23日（土）に、**第32回全日本マーチングコンテスト**を翌24日（日）に、「大阪城ホール」で開催いたしました。この2つの行事も、毎年主管いただいております、関西吹奏楽連盟、とりわけ大阪府吹奏楽連盟の皆様には大変お世話になり、ありがとうございます。今後ともどうかよろしくお願ひ申し上げます。

昨年度の秋季事業に関しましては、多くの観客の皆様をお迎えし、無事開催することができました。また、出場された皆様が例年を上回るような素晴らしい演奏・演技を披露され、どの大会も大きな感動とともに閉会いたしました。なお、大会に携わっていただいた連盟の皆様、手伝っていただいた学生・生徒の皆様並びに会場等の全ての関係の皆様への献身的な運営に心からお礼を申し上げます。

第43回全日本アンサンブルコンテストは2020年3月20日（祝・金）に福井市の「福井県立音楽堂ハーモニーホールふくい」で開催される予定でした。しかしながら新型コロナウイルスの感染拡大の状況を鑑み、実施は困難と判断し、中止といたしました。支部代表の皆様、主管いただいた北陸吹奏楽連盟・福井県吹奏楽連盟の皆様並びに関係諸団体の皆様には、大変ご迷惑をおかけいたしました。心よりお詫び申し上げます。

以上、2019年度の各事業についてご報告いたしました。

会議報告

臨時理事会

1月8日（水） アルカディア市ヶ谷

議 事

議案 当連盟の会計処理に関して

調査委員である早川監事より調査報告書の提出・報告、鈴木弁護士および安藤理事より説明があり、調査委員会による調査の結果、2010年度から2018年度の各理事会・総会で承認・可決された決算報告書の内容は現実の収支と異なる不正確なものであり、上記年度において職員の給与および賞与の上乗せ支給、上乗せ分は事業支出の各科目に付け替えて計上していた事実が認められた旨説明がなされた。

丸谷理事長より、決算報告書の修正を行い、1月27日に臨時総会を開催したいとの意向が提示され、承認された。また、丸谷理事長より、給与および賞与を上乗せ支給し、正当な理由なく受給していた職員について懲戒の手続きに入りたいと提案があり、承認された。

臨時理事会

1月27日（月） アルカディア市ヶ谷

議 事

第1号議案 1月8日の臨時理事会・支部理事長会以降の報告

調査委員より、給与の不正受給をしていた職員の懲戒の手続きにあたり、再度、当該職員からの弁明を求める手続きを行ったことが報告された。当該職員からの弁明を受けてもなお、1月8日の理事会で報告された調査委員会の結論は揺るがず、本件は職員二名への給与の水増し支給、いわゆる給与の不正支給事件であると判断したと報告された。

第2号議案 修正収支決算書の報告

安藤理事より、2010年度から2018年度までの総会承認収支決算書を実支給に基づいた収支決算書に修正し、これを臨時総会にて説明・提示のうえ承認を得たいと報告があった。修正したものは実支給に基づく収支決算書ではあるが、

職員等給与の科目として現実に支出された金額であることは承認しても、正規の給与に上乗せした不正受給を承認したわけではないということ、また、不正受給した金額は後で回収を図ることが確認された。

監事より、監査報告として、修正のうえ再提出された2010年度から2018年度までの収支決算報告書の報告について適正に表示しているものと認めると報告したいと説明があった。

第3号議案 職員の懲戒について

丸谷理事長より、給与不正受給に関与した職員について懲戒に値するかという提案があり、挙手による全員一致で承認された。また、懲戒の内容について、懲戒解雇とするとの提案があり、挙手による全員一致で承認された。

第4号議案 損害賠償請求について

給与不正受給の職員に対する損害賠償請求について、弁護士への委任や費用等も含めて、すべての手続きは三役に一任するということが全会一致で再確認された。

臨時総会

1月27日（月） アルカディア市ヶ谷

理事長より

2010年度から2018年度の決算報告書について誤りがあった旨説明された。また、給与の不正受給に関与した職員を懲戒解雇したと報告があった。

早川監事より

以前から一部職員に疑いを持っていた理事の声を聞き、大きな問題であると認識したため、監事の権限で鈴木弁護士・安藤理事に協力を仰ぎ、調査委員会を立ち上げて調査を進めたと報告があった。

2010年度から2018年度の総会および理事会で可決承認された収支決算報告書は、現実の収支と異なる不適正なものであり、その原因は、理事長が承認した事務局職員の給与および賞与に不正に上乗せされた金額で過剰支給されていたからである旨報告された。また、不正に上乗せされた金額を事業費の各科目に割り振って分散して計上していた事が判明したことも併せて説明された。

議 事 過年度の決算報告書の修正承認について

中澤副理事長より、2010年度から2018年度の決算報告書および収支決算書の修正について説明があり、挙手により承認された。

理事会

3月19日（木） ホテルフジタ福井

議 事

第1号議案 2020年度事業計画決定に関する件

総務・開発について中澤副理事長より、事業について村山副理事長より提案・説明があり、挙手により承認された。

第2号議案 2022年度課題曲委嘱作曲家決定に関する件

石津谷常任理事より提案・説明があり、理事により推薦のあった候補者を検討し、承認可決された。また、委嘱候補に外国の方も入れた方が良いという意見があり、今後検討していくことが確認された。

第3号議案 役員（監事）選任に伴う規程改訂について

中澤副理事長より、辞任した前監事に代わる新しい監事の選任に伴い、規程の改訂が必要となったことが説明され、挙手により承認された。

また、丸谷理事長より河田好平氏（弁護士・公認不正検査士）を監事候補にしたいと提案があり、理事会として推薦することが挙手により承認された。

第4号議案 役員（監事）選任に伴う臨時総会について

中澤副理事長より提案があり、監事選任の臨時総会を特例措置として書面にて行うことが、挙手により承認された。

第5号議案 事務局職員に関する件

中澤副理事長より、事務局職員の河合敦子氏を事務局長に、上澤あい子氏を正職員とする提案があり、挙手により承認された。また、できるだけ早く新規職員採用を検討することも承認された。

第6号議案 理事が事務局に入る件

丸谷理事長より提案があり、人選は三役に一任するという含め、挙手により承認された。

協議事項

1. 今回の不祥事の原因究明及び再発防止と信頼回復に向けて

中澤副理事長より、今回の原因及び再発防止等のため外部有識者三名による第三者委員会を設置することについて説明があった。

2. 定時総会、協議会の件

中澤副理事長より、正会員等に送付する定時総会の文書について、説明があった。4月23日の臨時理事会で最終決定したものを正会員等へ送付するということが確認された。

3. 2023・2024年度中学・高校のコンクール会場について

現在、未定であり早急に検討することを確認した。

4. 役員（理事）補充について

中澤副理事長より、祐川理事（2月逝去）に代わる理事の補充について、東北支部から候補者を推薦してもらい、5月の定時総会の議案として諮りたいと説明があった。また、祐川理事が担当していた総務部長の後任については、三役に一任することが承認された。

臨時理事会

4月23日（木） ウェブ会議

議 事

第1号議案 定時総会の開催方法の件について

中澤副理事長より、5月29日に予定していた定時総会を、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により6月下旬に延期したいと提案があり、挙手により承認された。また、日時・場所を設定して開催するという事、書面による議決権行使も認めることも承認された。

第2号議案 永年勤続表彰の件

中澤副理事長より、定時総会を一堂に会して行わない場合、今年度の永年勤続表彰の該当者

については来年度の定時総会にて表彰したいと提案があり、挙手により承認された。また、今年度該当者の申請は今年度に行うことも確認された。

第3号議案 第三者委員会からの報告を受けて、理事会としての「原因及び再発防止策等」を正会員に説明・報告する件

村山副理事長より、定時総会を一堂に会して行わない場合、一堂に会することのできる状況になったら臨時総会を開催し、上記の件について討議する場を持ちたいと提案があり、挙手により承認された。

第4号議案 理事が事務局に入る件

3月19日の理事会で承認された理事が事務局に入る件について、第三者委員会からの提言を受けたいと理事会にて検討したほうが良いという意見が多数あり、第4号議案は保留にすることが挙手により承認された。

第5号議案 総務部長の件

村山副理事長より、常任理事会の案として総務部長に井田重芳理事を推薦したいと提案があり、挙手により承認された。

臨時理事会

5月9日（土） ウェブ会議

決議事項

第1号議案 秋季事業の件

村山副理事長より、新型コロナウイルス感染拡大による秋季事業の中止の可否についての提案があった。第一・第三事業部長から中止決定に至る経緯の説明があり、挙手により承認された。また、延期については考えないことが確認された。

第2号議案 第1号議案決定に伴う今後の対応の件

翌日5月10日に各支部・各正会員連盟・関係各所へ通知した後、ホームページへ掲載することが確認された。理事の朝日新聞社からも5月11日付けの朝刊で記事を掲載する旨報告があった。

石津谷常任理事より、2020年度課題曲は2021

年度課題曲とする旨、また2021年度課題曲として公募した課題曲は2022年度課題曲とする旨説明があった。なお、各支部や県で独自のコンクールを実施する際は、課題曲の演奏の自粛をお願いすることの提案があった。

竹田常任理事より、秋季事業の中止により、2020年度予算を組み替える旨説明があった。

上記各項目について、挙手により承認された。

第3号議案 定時総会開催日時・場所決定の件

中澤副理事長より、5月29日に開催予定であった定時総会を、6月30日にアルカディア市ヶ谷で開催する旨提案があり、挙手により承認された。

第4号議案 事務局職員雇用に関する件

中澤副理事長より、事務局職員の給与について、暫定という条件付きで支給することが提案された。また、就業規則についても早急に制定する旨説明があり、挙手により承認された。

臨時理事会

5月29日（金） ウェブ会議

決議事項

【定時総会議案】

第1号議案 2019年度事業報告承認の件

村山副理事長より、加盟団体数の推移、維持会員数、諸会議、定款・規程の見直しを行う専門委員会、不祥事に関する調査委員会、第三者委員会設立について、また、2020年度課題曲は2021年度課題曲にすること、および、アンサンブルコンテスト中止について等総務開発に関する報告・説明があり、挙手により承認可決された。

第2号議案 2019年度決算報告承認の件及び監査報告の件

竹田財務部長より、顧問税理士の変更に伴い2019年度決算について書式が変わったことや決算内容について説明があった。承認は6月9日の臨時理事会で行うこととなった。

第3号議案 2020年度事業計画案承認の件

村山副理事長より、会議について今年は秋季事業の中止や新型コロナウイルスの影響により

日程が未定であるが、ウェブ会議を活用し、集まれるようになった時の予算も立てる旨説明があり、3月19日に承認された計画案を含め、挙手により承認可決された。

第4号議案 2020年度予算案承認の件

竹田財務部長より2020年度予算について説明があった。承認は6月9日の臨時理事会で行うこととなった。

第5号議案 一般社団法人へ移行後の役員報酬追認の件

河田監事の指摘を受け、過去の役員報酬について総会の追認決議を得ることとした。承認は6月30日の定時総会で行うこととなった。

第6号議案 役員報酬規程承認の件

丸谷理事長より、今後は定期同額給与として支払う（日当制は廃止）ことについて提案があり、挙手により承認可決された。

第7号議案 役員選挙の件

丸谷理事長より、現在理事に欠員が1名生じているため、総会で選挙を行う旨説明があった。

【理事会としての議案】

第1号議案 会報「すいそうがく」と「全日吹連だより」発行について

村山副理事長より、会報「すいそうがく」および「全日吹連だより」の発行を今年に限り年2回（例年は各3回）発行とする旨説明・提案があり、挙手により承認可決された。

第2号議案 2019年度支部・会員連盟運営補助金及び事務委託費承認の件

河田監事より、運営補助金（支部運営補助金、会員連盟運営補助金、コンクール中・高および大・職一、小フェス・マーチング）の支払先の理事長と全日吹連の理事（役員）を兼ねている場合は、利益相反取引になるため、理事会の承認決議が必要である旨指摘があった。その後、それぞれの当該理事が外れて決を採り、挙手による承認可決となった。

第3号議案 公益目的支出計画実施報告書承認の件

河田監事より、顧問税理士の指摘を受け、公益目的支出計画実施報告書について「理事会の

承認後、監査を受け、総会に報告しなければならない」と定められているが、今まで行ってきた形跡がない旨指摘があった。今後、法に準拠して行う。承認は6月9日の臨時理事会で行うこととなった。

第4号議案 一般社団法人に移行後の役員日当に対する法人税の修正申告の件

河田監事より、これまで支払ってきた日当が損金算入扱いにならないことから、法人税の修正申告を5年遡って行っていく必要がある旨指摘があった。中澤副理事長より、今後法に準拠し、修正申告を行っていくことについて提案があり、挙手により承認可決された。

協議事項

1. 2022年度課題曲のMIDI音源審査及び試奏審査会について

石津谷開発部長より、延期になっていたMIDI音源審査および試奏審査会について、日程と会場について報告があった。

2. 6月30日（火）の定時総会への出席及び7月3日（金）の理事会について

中澤副理事長より、アルカディア市ヶ谷にて6月30日（火）に定時総会を行うが、新型コロナウイルスの影響のため、既に正会員はじめ関係者に連絡済みのとおり、書面による決議で行う旨説明があった。そこで、7月3日（金）の理事会については行わないと報告された。また、定時総会の運営について、議長や選挙管理委員会の持ち方等確認がなされた。なお、7月3日（金）に予定されていた支部理事長会は、延期する旨報告された。

臨時理事会

6月9日（火） ウェブ会議

決議事項

第1号議案 2019年度事業報告承認の件

村山副理事長より、2019年度事業について報告があり、挙手により承認可決された。

第2号議案 2019年度決算承認の件

竹田財務部長より、2019年度決算について報告があり、挙手により承認可決された。

第3号議案 2019年度公益目的支出計画実施報告書承認の件

中澤副理事長より、2019年度公益目的支出計画実施報告書について説明・報告があり、挙手により承認可決された。

第4号議案 2020年度事業計画及び収支予算書承認の件

村山副理事長より、2020年度事業計画と予算について変更があったため、再度説明・報告があり、挙手により承認可決された。

第5号議案 2020年度定時総会の日時場所について

村山副理事長より、2020年度定時総会の日時・場所について、以下のように説明・報告があり、挙手により承認可決された。

日 時 令和2年6月30日(火) 午後1時
場 所 東京都千代田区九段北四丁目2番25号
アルカディア市ヶ谷7階「琴平」

第6号議案 2020年度定時総会につき、書面による議決権行使を認める件

村山副理事長より、2020年度定時総会について、5月29日の理事会で協議した通り、書面による議決権行使とする旨、またその期間は「令和2年6月29日午後5時(事務局業務時間の終了時)までとする」旨、説明・報告があり、挙手により承認可決された。

第7号議案 2020年度定時総会議案及び報告事項の件

中澤副理事長より、以下を2020年度定時総会の議案とする旨説明・報告があり、挙手により承認可決された。

- (1) 第1号議案 2019年度決算承認の件
- (2) 第2号議案 理事及び監査役の報酬等の額決定の件
- (3) 第3号議案 役員の報酬等及び費用に関する規程の制定の件
- (4) 第4号議案 理事及び監事報酬の追認の件
- (5) 第5号議案 理事1名選任の件

中澤副理事長より、以下を2020年度定時総会報告事項とする旨説明・報告があり、挙手により承認可決された。

- (1) 2019年度事業報告の件
- (2) 2019年度公益目的支出計画実施報告書の件
- (3) 2020年度事業計画及び収支予算書の件

協議事項

1. 中澤副理事長より、総会に関する送付書類・資料について確認がなされた。
2. 6月30日(火) 総会の持ち方及び理事の対応確認

中澤副理事長より、総会細部についての確認がなされた。

定時総会議事録

6月30日(火) アルカディア市ヶ谷

本定時総会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、正会員の皆様より書面によって事前に議決権を行使いただいた。

議長選出 櫻井和也(宮崎)氏を選出し、議事に入った。

報告事項

報告事項1 第47事業年度事業報告の件

加盟団体数、維持会員数、会議、広報、出版など総務全般を中澤副理事長、秋季事業の報告、アンサンブルコンテストの中止など事業全般を村山副理事長が報告・説明した。

報告事項2 第47事業年度公益目的支出計画実施報告の件

2019年度の全体の概要およびアンサンブルコンテスト、助成事業などについて、中澤副理事長が報告・説明した。

報告事項3 第48事業年度事業計画及び予算の件

会議、広報、助成金など総務関連を井田常任理事、課題曲出版など開発振興を石津谷常任理事が報告・説明した。事業関連を、コンクールについて八尋常任理事が、アンサンブルコンテストについて櫻井常任理事が、小学生バンドフェスティバルおよびマーチングコンテストについて米田常任理事が報告・説明した。予算書について、2020年度予算および理事・監事の報酬を月額報酬に一本化することなどを竹田常任理事が報告・説明した。

決議事項

第1号議案 第47事業年度(2019年度)計算書

類承認の件

竹田常任理事が、第47事業年度の計算書類について説明した。また、新しい顧問税理士の助言を受け、計算書類の書式等を変更した旨の報告があった。

次に、監事から、事業の監査、会計監査について報告がなされた。

本議案については、議決権行使書面を含めて出席した正会員の議決権の過半数の承認により、承認可決された。概要は次のとおり（単位は千円）。

収入合計額 254,841

内訳

財産収入 15、会費収入 10,789、事業収入 232,307、補助金・協賛金収入 11,600

支出合計額 250,570

内訳

事業費・事務費 233,570、支部・会員連盟運営補助金 17,000

第2号議案 理事及び監事の報酬決定の件

理事及び監事の報酬等の額について、定款第26条の規定に基づき総額を理事全員につき年額800万円以内とすること、監事全員につき年額300万円以内とする旨決定することについて、中澤副理事長が説明した。

本議案については、議決権行使書面を含めて出席した正会員の議決権の過半数の承認により、承認可決された。

第3号議案 役員の報酬及び費用に関する規程の制定の件

理事及び監事の報酬等の支給基準について、定款第26条の規定に基づき制定すること等を、中澤副理事長が説明した。

本議案については、議決権行使書面を含めて出席した正会員の議決権の過半数の承認により、承認可決された。

第4号議案 理事及び監事報酬の追認の件

過去の理事及び監事の報酬につき総額及び支給の基準につき、理事は、一般社団法人に移行した平成25年度に遡って、監事は平成22年度に遡って追認していただきたい旨、中澤副理事長が説明した。

本議案については、議決権行使書面を含めて

出席した正会員の議決権の過半数の承認により、承認可決された。

第5号議案 理事1名選任の件

今年2月より理事に1名欠員が出ており、土川春生氏を理事として選任したい旨、村山副理事長が説明した。

本議案については、議決権行使書面を含めて出席した正会員の議決権の過半数の承認により、土川春生氏が理事として承認可決された。

臨時理事会

6月30日（金） ウェブ会議

1 総会事後対応について

中澤副理事長より、総会資料を送付した方へは決議事項の結果と、正会員から寄せられた質問に対する回答を、総会後に報告する旨説明があった。

2 役員報酬の金額の決定及び現行の役員報酬及び日当の規程の廃止に関する件

中澤副理事長より、定時総会にて、役員報酬について今までの日当制ではなく月額報酬にすること、および、その年間額が決まった旨説明があった。挙手により可決された。また、会計細則19条1項2項に定める日当は廃止とする旨提案があり、挙手により可決された。

3 今後の取組み内容

(1) 第三者委員会からの報告・提言を受け、臨時総会を視野に入れた、理事会としての「再発防止策」の作成について

理事をグループに分け、第三者委員会の提言を受けて取組みについての柱を立て、グループごとに話し合うという提案がなされた。10月の完成を目指し、今後の会議日程が確認された。

(2) 専門委員会での定款・規程集の策定および事務局職員の就業規則・給与規程の策定について

井田総務部長より、定款・規程について急いで整備しなければならないところから始めていく旨説明があった。

2019・2020年度役員業務分担表

理 事

- 〔総括〕丸谷明夫（理事長）
- 〔総務担当〕中澤正人（副理事長）
- 〔総務部〕（広報、諸規定管理、危機管理）
- 井田重芳
- 〔財務部〕（財務）○竹田大助
- 〔開発・振興部〕（課題曲関係、少子化対策）
- 石津谷治法
- 〔事業担当〕村山英一（副理事長）
- 〔第一事業部・吹奏楽コンクール〕
- 八尋清繁、石塚武男、鈴木芳夫、田中義啓、町田真左志
- 〔第二事業部・アンサンブルコンテスト〕
- 櫻井和也、一瀬純司、土川春生、馬場正英
- 〔第三事業部・小学生バンドフェスティバル、マーチングコンテスト〕○米田正博、安藤繁秋、植田 薫、遠藤秋実、大滝 実
- 〔事業共催・朝日新聞社〕○上村義夫
- …部長（常任理事）部長以外は50音順

監事

- 早川英一、河田好平（弁護士法人 キャストグローバル）

※なお、事務局長には河合敦子が就任いたしました。

第43回全日本アンサンブルコンテストプログラム

第43回全日本アンサンブルコンテストは、3月20日(祝・金)に福井県立音楽堂ハーモニーホールふくいで開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、誠に残念ではございますが中止とさせていただきます。

高等学校の部

- 1 東海代表 長野県 長野県長野東高等学校吹奏楽部(金管八重奏)
パラレルワールド ～プラスアンサンブルのための～/小長谷宗一
- 2 東関東代表 神奈川県 横浜市立戸塚高等学校吹奏楽部(管楽八重奏)
「テレパシコレ舞曲集」より 1. バレエ、2. 水夫のバレエ、3. プランルダブル～スパ/M.プレトリウス
- 3 北陸代表 福井県 北陸高等学校吹奏楽部(打楽器八重奏)
スタンド・グラス/D.R.ギリングハム
- 4 西関東代表 埼玉県 埼玉栄高等学校吹奏楽部(打楽器八重奏)
黙示録の夢/D.R.ギリングハム
- 5 北海道代表 北海道 北海道旭川商業高等学校吹奏楽部(クラリネット四重奏)
超絶技巧練習曲第7番「アニマンド」～クラリネット四重奏のための～/阿部勇一
- 6 四国代表 香川県 高松第一高等学校吹奏楽部(クラリネット八重奏)
ラ・セーヌ/真島俊夫
- 7 関西代表 兵庫県 尼崎市立尼崎高等学校吹奏楽部(打楽器八重奏)
打楽器アンサンブルのための協奏曲/D.R.ギリングハム
- 8 九州代表 熊本県 玉名女子高等学校吹奏楽部(金管八重奏)
晴れた日は恋人と市場へ!/建部知弘
- 9 中国代表 岡山県 岡山学芸館高等学校吹奏楽部(金管八重奏)
2つの詩曲/松下倫士
- 10 関西代表 奈良県 奈良市立一条高等学校吹奏楽部(クラリネット四重奏)
超絶技巧練習曲第八番「瞋恚之炎」/阿部勇一
- 11 四国代表 香川県 香川県立坂出高等学校吹奏楽部(金管八重奏)
ニューヨークのロンドン子より/J.パーカー
- 12 北海道代表 北海道 北星学園大学附属高等学校吹奏楽部(木管八重奏)
木管八重奏のためのディヴェルティメント/G.ジェイコブ
- 13 東北代表 福島県 福島県立磐城高等学校吹奏楽部(フルート六重奏)
白風～フルート六重奏のための 口短調 作品28a/葛西竜之介
- 14 西関東代表 埼玉県 春日部共栄高等学校吹奏楽部(打楽器八重奏)
コンシダー・ザ・バード/R.ジョージ
- 15 東北代表 宮城県 聖ウルスラ学院英智高等学校吹奏楽部(クラリネット八重奏)
ラ・セーヌ/真島俊夫
- 16 東京代表 東京都 東海大学付属高輪台高等学校吹奏楽部(金管八重奏)
軌道共鳴/三澤 慶
- 17 東関東代表 千葉県 習志野市立習志野高等学校吹奏楽部(クラリネット四重奏)
超絶技巧練習曲第九番「ブルレスカ」/阿部勇一
- 18 九州代表 福岡県 九州産業大学付属九州高等学校吹奏楽部(クラリネット四重奏)
サラトガ トレイル/R.デュビュニオン
- 19 中国代表 岡山県 明誠学院高等学校吹奏楽部(クラリネット四重奏)
オーデションのための6つの小品/J.M.ドゥファイ
- 20 北陸代表 富山県 富山県立富山商業高等学校吹奏楽部(金管八重奏)
「ア・ラ・カルト」より/G.リチャーズ
- 21 東海代表 三重県 三重県立白子高等学校吹奏楽部(打楽器八重奏)
スタンド・グラス/D.R.ギリングハム
- 22 東京代表 東京都 東海大学菅生高等学校吹奏楽部(クラリネット八重奏)
ネーニエ～嘆きの歌～/八木澤教司

大学の部

- 1 中国代表 山口県 山口大学文化会吹奏楽部(フルート四重奏)
3つの小品/E.ボザ
- 2 関西代表 大阪府 関西大学応援団吹奏楽部(打楽器六重奏)
マリンバコンチェルティーノ「THE WAVE」～2台のマリンバと4人の打楽器奏者のための/安倍圭子、和田 薫
- 3 東北代表 福島県 医療創生大学吹奏楽団(木管三重奏)
ディヴェルティメント変ロ長調～2本のオーボエとイングリッシュホルンのための/J.ヴェント
- 4 四国代表 徳島県 四国大学吹奏楽部(木管三重奏)
詩曲II/井潤昌樹

- 5 西関東代表 埼玉県 文教大学吹奏楽部（サクソフォン四重奏）
サクソフォーン四重奏曲より第四楽章/A.ベルノー
- 6 東京代表 東京都 東海大学吹奏楽研究会（木管八重奏）
タランテラ/松下倫士
- 7 北陸代表 富山県 富山大学吹奏楽団（金管八重奏）
歌劇「ナブッコ」より 開幕の合唱「祭りの晴れ着がもみくちやに」/G.ヴェルディ
- 8 北海道代表 北海道 北海道教育大学函館校吹奏楽団（クラリネット四重奏）
コン・モート～4本のクラリネットのための/阿部勇一
- 9 九州代表 福岡県 福岡工業大学吹奏楽団（クラリネット四重奏）
超絶技巧練習曲第八番「瞋恚之炎」/阿部勇一
- 10 東海代表 静岡県 静岡大学吹奏楽団（金管八重奏）
金管八重奏のためのミスター・プラス・コンチェルトより II.エレジー I.ブルガリアン・プレリュード/R.ボイヤジェフJr.
- 11 東関東代表 神奈川県 神奈川大学吹奏楽部（金管八重奏）
ジ・エヴァーグリーン・マインド/長生 淳

中学校の部

- 1 北海道代表 北海道 釧路町立富原中学校吹奏楽部（木管八重奏）
鬼姫-ある美しき幻影-/田村修平
- 2 東関東代表 千葉県 千葉市立土気中学校吹奏楽部（打楽器八重奏）
ステンド・グラス/D.R.ギリングハム
- 3 東北代表 宮城県 仙台市立五橋中学校吹奏楽部（サクソフォン四重奏）
アトムハーツクラブカルテットよりII、I/吉松 隆
- 4 九州代表 鹿児島県 鹿児島市立武岡中学校吹奏楽部（木管八重奏）
ラ・セーヌ/真島俊夫
- 5 東海代表 長野県 松本市立鎌田中学校吹奏楽部（金管八重奏）
金管八重奏曲/高 昌帥
- 6 東海代表 愛知県 岡崎市立六ツ美中学校吹奏楽部（金管八重奏）
水の宮殿/松下倫士
- 7 北陸代表 福井県 坂井市立坂井中学校吹奏楽部（打楽器四重奏）
彩雲/濱口大弥
- 8 東京代表 東京都 青梅市立第六中学校吹奏楽部（木管三重奏）
悲涙-虎になった男-/佐藤信人
- 9 東北代表 山形県 山形市立第六中学校吹奏楽部（打楽器五重奏）
マリンバコンチェルティーノ「THE WAVE」～2台のマリンバと4人の打楽器奏者のための/安倍圭子、和田 薫
- 10 四国代表 徳島県 徳島市国府中学校吹奏楽部（打楽器四重奏）
マリンバ・スピリチュアル/三木 稔
- 11 中国代表 広島県 府中町立府中中学校吹奏楽部（打楽器八重奏）
ソソバラ 8人の打楽器奏者のための/E.セジョルネ
- 12 四国代表 徳島県 徳島市城東中学校吹奏楽部（金管八重奏）
「テレブシコーレ舞曲集」より/M.プレトリウス
- 13 関西代表 兵庫県 加古川市立浜の宮中学校吹奏楽部（金管八重奏）
花宴～朧月夜に似るものぞなき～/三澤 慶
- 14 西関東代表 埼玉県 埼玉栄中学校吹奏楽部（打楽器八重奏）
協奏曲/D.R.ギリングハム
- 15 北陸代表 石川県 白山市立北辰中学校吹奏楽部（打楽器六重奏）
6人の打楽器奏者のための「ヴォルケーノ・タワー」/J.グラスティル
- 16 中国代表 山口県 防府市立桑山中学校吹奏楽部（打楽器四重奏）
森の会話I ～ソロマリンバと3人の打楽器奏者のための～/安倍圭子
- 17 西関東代表 埼玉県 朝霞市立朝霞第一中学校吹奏楽部（クラリネット四重奏）
超絶技巧練習曲第七番「アニマンド」～クラリネット四重奏のための～/阿部勇一
- 18 東京代表 東京都 小平市立小平第三中学校吹奏楽部（打楽器八重奏）
ギャラクティック エンパイアーズ/D.R.ギリングハム
- 19 東関東代表 千葉県 習志野市立第五中学校吹奏楽部（フルート四重奏）
アルカディ/M.バルトミュー
- 20 北海道代表 北海道 札幌市立清田中学校吹奏楽部（木管八重奏）
ガラスの海と都市の情景/Micina
- 21 関西代表 兵庫県 加古川市立中部中学校吹奏楽部（木管八重奏）
交響詩「テイル・オイレンシュピーゲルの愉快な悪戯」/R.シュトラウス
- 22 九州代表 宮崎県 宮崎市立大淀中学校吹奏楽部（クラリネット五重奏）
カレイドスコープ/R.T.ロレンツ

職場・一般の部

- 1 北海道代表 北海道 北見吹奏楽団（金管六重奏）
タランテラ/八木澤教司
- 2 関西代表 大阪府 創価学会関西吹奏楽団（金管八重奏）
幻影 I.切り裂かれた都市/小長谷宗一

- 3 中国代表 広島県 やすにし吹奏楽団 (管打八重奏)
「テレブシコーレ舞曲集」より/M.プレトリウス
- 4 東北代表 宮城県 名取交響吹奏楽団 (金管八重奏)
「テレブシコーレ舞曲集」より/M.プレトリウス
- 5 東海代表 静岡県 ヤマハ吹奏楽団浜松 (金管五重奏)
金管五重奏曲 第2番/V.エヴァルド
- 6 北海道代表 北海道 上磯吹奏楽団 (クラリネット四重奏)
クラリネット・ラプソディ/D.ベネット
- 7 東京代表 東京都 東京隆生吹奏楽団 (金管八重奏)
「祈りの海へ」より I.プレリュード II.失われた時間/松下倫士
- 8 関西代表 滋賀県 大津シンフォニックバンド (金管八重奏)
「幻影」より IV.逃げ惑う心/小長谷宗一
- 9 東北代表 秋田県 メビオン・サクソフォン・クワルテット (サクソフォン三重奏)
RONDO CHROMATIQUE/正門研一
- 10 九州代表 福岡県 プリヂストン吹奏楽団久留米 (管打八重奏)
レント・リチュアル/J.グラスティル
- 11 東関東代表 神奈川県 Pastoral Symphonic Band (クラリネット八重奏)
ラ・セーヌ/真島俊夫
- 12 北陸代表 福井県 福井サクソフォン研究会 (サクソフォン四重奏)
サクソフォン四重奏曲より第3楽章/A.デザンクロ
- 13 東海代表 静岡県 浜松交響吹奏楽団 (金管八重奏)
金管八重奏曲/高 昌帥
- 14 中国代表 広島県 NTT西日本中国吹奏楽クラブ (管打五重奏)
リバーダンス/名田綾子
- 15 西関東代表 埼玉県 川口市・アンサンブルリベルテ吹奏楽団 (クラリネット四重奏)
オーデションのための六つの小品/J.M.ドゥファイ
- 16 四国代表 香川県 高松市民吹奏楽団 (金管八重奏)
幻影 I. 切り裂かれた都市/小長谷宗一
- 17 東京代表 東京都 Ikelute Wind Camp (クラリネット八重奏)
カタラクト/阿部勇一
- 18 四国代表 愛媛県 アンサンブル パタティ・パタタ (クラリネット四重奏)
プレリュードとファンク/G.コネッソン
- 19 東関東代表 神奈川県 横浜プラスオルケスター (サクソフォン四重奏)
マウンテン・ロード 1楽章 序曲/D.マスランカ
- 20 九州代表 宮崎県 ピエ ドゥ プール (サクソフォン四重奏)
グラヴエとプレスト/J.リヴィエ
- 21 北陸代表 福井県 ソノーレ・ウインドアンサンブル (木管六重奏)
木管六重奏のための「春」/H.トマジ
- 22 西関東代表 埼玉県 ソールリジェール吹奏楽団 (クラリネット四重奏)
野宮/磯崎敦博

2020年度秋季事業の中止について

新型コロナウイルス感染拡大の現状を鑑み、本連盟では秋季事業の開催についてさまざまな観点から検討、協議を重ねて参りました。その結果、参加団体の皆様、ご来場のお客様、関係する全ての皆様の生命と安全が最優先との結論に達し、全日本吹奏楽コンクール、全日本小学生バンドフェスティバル、全日本マーチングコンテストの中止を決定いたしました。

このことは本連盟にとって苦渋の決断であり、加盟団体の皆様方、吹奏楽を愛好し、ご支援いただいている皆様方のお気持ちを察しますと、本当に心の痛む思いでございます。しかし、この重大な経験を克服した先には吹奏楽の輝かしい未来が必ず見えてくるものと確信しております。

本連盟といたしましては、この緊急事態に屈することなく、吹奏楽の灯を守り続け、ますます発展するよう一層の努力を重ねていく所存です。

なお、コンクール課題曲については、2020年度の作品を2021年度の課題曲といたします。

《2021 (2020) 年度課題曲訂正のお知らせ》

2021 (2020) 年度課題曲に以下のミスがございました。訂正して深くお詫び申し上げます。

課題曲Ⅱ 龍潭譚

101小節目 Glock.の使用マレットをmediumではなく、softに訂正。

課題曲Ⅲ 僕らのインベンション

コンデンススコア 136小節目 1拍目、8分音符の和音から Fis を削除。

課題曲Ⅴ 吹奏楽のための「幻想曲」-アルノルト・シェーンベルク讃

- ①11小節目 Perc.1 Vib.のDはDisに訂正。
- ②17小節目 Bass Cla. 19小節目の終わりの音までPicc.と同様の点線スラーを付ける。
- ③22小節目 Trp.1 附点8分音符と16分音符をなくし、4分音符に変更。
- ④45小節目 Trb.3 2拍目の裏拍のFisをGisに訂正。
- ⑤50小節目 Fl.2とE♭Cl. 装飾音の3番目の音 GisをFisに訂正。
- ⑥14小節目の欄外に書かれている注釈6) が印刷されていない。
注釈6) ad lib.,as fast as possible,at a constant speed
- ⑦Ob. 2 67小節目、下記が正当。



- ⑧Perc.4 Large Gongは Tam-tam を使用すること。

正誤表

	パート譜	フルスコア	フルスコア集
①	×	×	×
②	×	×	×
③	×	×	×
④	×	×	×
⑤	×	×	×
⑥	○	×	○
⑦	×	○	○

※ ×は上記訂正をご確認ください

すいそうがく 第214号

二〇二〇年8月発行

発行所
〒102-0075

全日本吹奏楽連盟事務局
東京都千代田区三番町二四

TEL 03-3234-6028
林三番町ビル5F

FAX 03-3234-1005

(振替) 001601814457
印刷所 (株)NHKビジネスクリエイト